

外国語学部創設10周年記念講演会

外国語習得の基礎として 必要な日本語のスキル

講演者：三森 ゆりか先生
(つくば言語技術教育研究所所長)

●講演概要：

言語技術 (Language Arts) は、欧米圏では母語教育の一環として教授され、外国語教育もそれに基づいて実施されることが多い。また、企業やスポーツの研修などにおいても、その応用の範囲は広がっている。本講演では、特に外国語習得の基盤という視点から、どのような日本語のスキルを身に付ければ良いかを、豊富な事例を基にしてご講演を頂く予定である。

●プロフィール：

東京生まれ。中高の4年間を旧西ドイツで暮らす。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。株式会社丸紅勤務後、上智大学文学部博士前期課程中退。1984年より言語技術の指導を開始し、現在に至る。教育現場での教員・生徒の指導を中心に、スポーツ団体(日本オリンピック委員会・日本サッカー協会・日本テニス協会・日本バスケットボール協会)、企業などで言語技術の指導と普及に努める。(財)ソニー教育財団評議委員、言語教育に関わり文科省の委員を複数経験。

日 時 2019年12月20日(金)
14:40-16:10

会 場 関西大学千里山キャンパス
第一学舎二号棟B102教室

主 催 関西大学外国語学部 <http://www.kansai-u.ac.jp/fl/index.html>

一般公開